

知って備える 防災メモ

第77回



防災情報を警戒レベルでお知らせします

西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となった『平成30年7月豪雨』は、各地で河川の氾濫や土砂災害を引き起こしました。1府13県で200人を超える死者・行方不明者を出し、豪雨災害として、平成最大の人的被害となったこと

の災害を教訓として、内閣府は避難勧告等に関するガイドラインを改定。市においても、市民の皆さんなどが防災情報の意味を直感的に理解できるように、警戒度合いなどをお知らせします。5段階の『警戒レベル』で災害に対する警戒レベルに応じた行動などの確認をお願いします。

なお、市が防災行政無線や広報車などで防災情報を発信する場合は、冒頭に『警戒レベル』と『とるべき行動』をお知らせします。

◎警戒レベルに応じた避難行動など

警戒レベル	避難行動など	防災気象情報など
5	命を守るための最善の行動をとってください	すでに災害が発生
4	災害が発生する恐れが極めて高い状況です。速やかに避難してください	土砂災害警戒情報、はん濫危険情報など
3	避難の準備を整え、避難に時間を要する方は避難を開始してください	大雨警報（土砂災害）、はん濫警戒情報など
2	避難に備え、避難行動を確認してください	大雨注意報、はん濫注意情報など
1	気象情報をこまめに確認し、災害への心構えを高めましょう	早期注意情報（警報級の可能性）など

◎『警戒レベル4・避難勧告』の例

『緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。こちらは、登別市です。〇〇川のはん濫の恐れがあるため、避難勧告を発令しました。〇〇川付近の方は、避難してください。避難が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください』

▼問い合わせ

総務グループ (☎**85** 1 1 3 0)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

登別FC

『登別FC』は、平成5年に『登別大谷Jr』として結成。その後、平成14年に『登別ジュニアユースFC』、平成22年に現在の名称に改名したサッカークラブチームです。

3歳から15歳までの男女60人が所属し、毎週火・金曜日の17時から19時まで、旧登別大谷高校のグラウンドで、計10人のコーチのもと、練習に励んでいます。

土・日曜日には、中学生と小学生以下に分かれて、練習試合や各種大会などに参加し、日頃の練習の成果を発揮しているという同チームについて、小学生以下の監督を務める飯尾真吾さんは、「技術だけではなく、サ



チームワークと技を磨き 仲間と共に勝利をつかむ

「小学2年生のときに友人の紹介でチームに入り、練習を重ねるごとにサッカーが楽しくなっています。練習は大変だけど、その分、試合で勝ったときの喜びは大きいです」と中学生チームでキャプテンを務める中学3年生の岡崎裕太さんは笑顔で教えてくれました。

初心者も大歓迎の同チーム。入団や見学を希望する方は、飯尾さん (☎090-4871-1573) まで。



◀年代ごとに分かれて行う練習



▶グラウンド全体を使ってドリブルの練習をする子どもたち